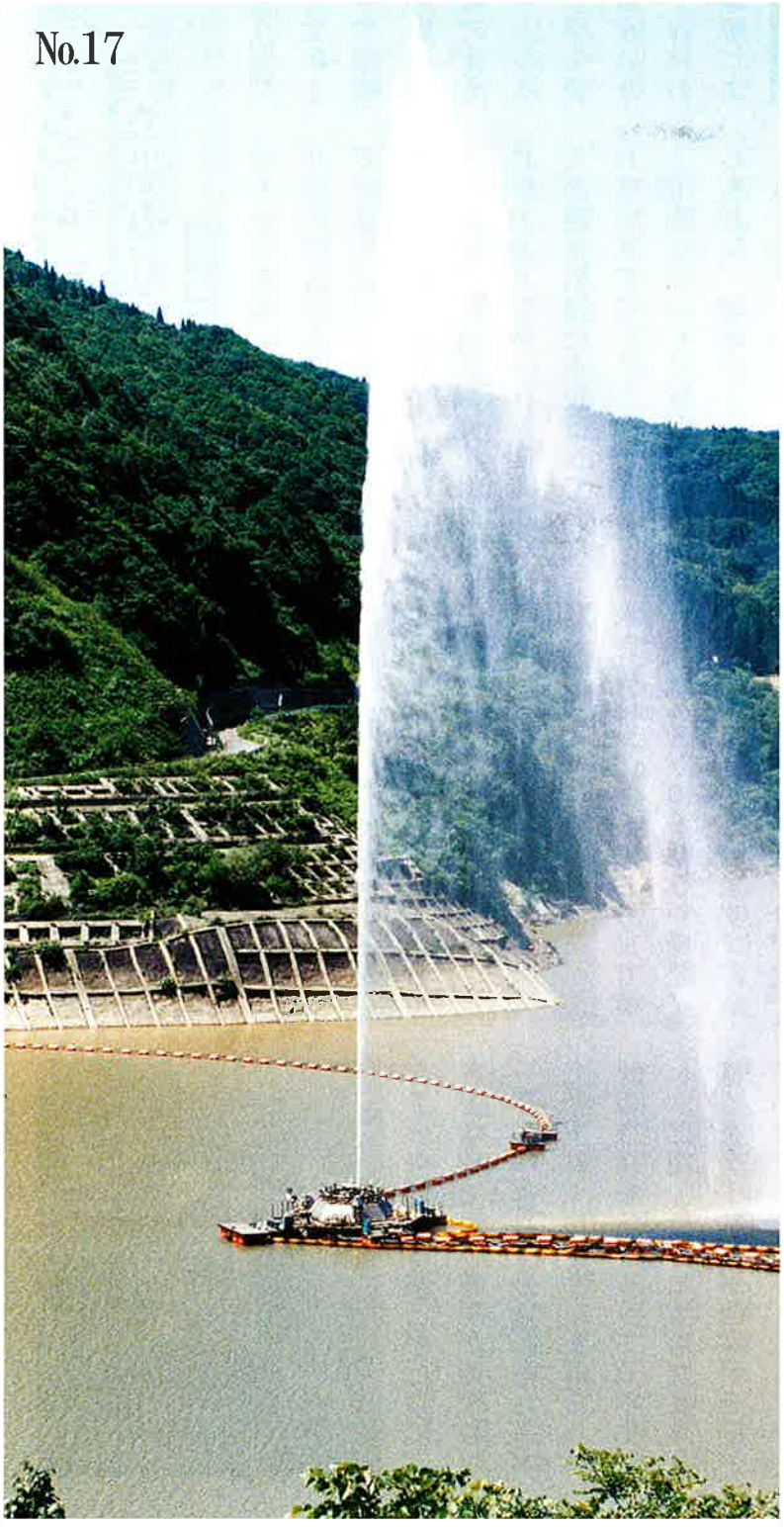
森林やまがた

No.17　　１９９８　８月



目　　次

月山湖の大噴水 …… 1
村山市ふるさと教育の森　2
山形県緑化センターコーナー 3
平成10年度
　特用林産の取組み …… 4
ちょっと森林浴 …… 5
「悠創の丘」オープン …… 6
現地ルポ …… 7
山のめぐみ（羽黒町） …… 8
山形の木の文化 …… 8
山の幸ア ラ カルト …… 9
県森林研究研修センターからの
お知らせ …… 10
高性能林業機械体験学習会 11
「緑のやまがた」コーナー　12
「緑のやまがた」コーナー　13

月山湖の大噴水

寒河江ダム内にある東洋一の大噴水。

瞬間に112メートルの高さまで打ち上げられる様子は迫力満点。

村山市「ふるさと教育の森」の実施状況について

村山市教育委員会

村山市の「ふるさと教育の森」事業は、恵まれた自然を生かし生きがいのある村づくりや地域社会の発展を図るため昭和五十七年にスタートし、今年で十七年目を迎えました。

参加者は市内六校の中学生で自らが木を植え、育てるという体験学習を通し、自然や森林のすばらしさ、大切さを理解しようというものです。これまで約二万六百人の生徒たちが参加しています。

運営には、村山市、村山市教育委員会、村山営林署、山形県北村山地方事務所林業振興課などが運営協議会を設置してあたっています。

用地については里山で道路からも近く、地形や土壌のよいところを選び、村山市と営林署との間で分収林契約を結び国有林を提供してもらっています。

「ふるさと教育の森」が設定されているところは村山市内の樽石セバ丁国有林、富並松木張国有林、山ノ内上根沢国有林、樽石カチ町国有林、山ノ内山の上国有林の五カ所で面積は約十二㌶、これまで約三万千六百本のスギが植えられました。

作業についての説明

植林風景

作業にあたっては、毎年〇・五㌶～〇・六㌶の土地にスギ苗木を植林し、さらにこれまで植林されたスギの下刈りや施肥、雪おこしを行っています。作業時間は、約一時間三十分程度で中学校生活三年間で一貫した世話を行うことによってスギの成長に直にふれることができます。

作業中、生徒と担当職員が付近の樹木や草花について話し合うなど交流も深まり、加えて自然や環境保全についての関心も高まりを見せています。

この毎年の事業と平行して、各中学校で森林教室が開かれ、一年生は「森林と友達になろう」、二年生は「わが手ですばらしい緑の森林をつくろう」、三年生は「木に親しむ―生活を支える木材」をテーマに事前学習を行っています。

ていねいに植付け

こうして生徒たちが植林、保育したスギは緑の森林を生みだし、地域の環境保全に貢献することになります。そして、六十年から八十年の後に伐採され、何らかの形で村山市の学校教育に役立てられることになっています。

═県緑化センターコーナー═
生垣の作り方と手入れ(3)

七月号で四つ目垣を作りましたので、樹木を植えることにしましょう。

★樹種を選ぶポイント

●常緑の木が必要かどうか

一年中目隠しを必要とする場所は、常緑広葉樹か針葉樹を選びます。

●最終的にどのぐらいの高さが必要か。

場所により目的により必要とする高さは異なり、それに合せて樹種を選びます。

●生育条件を考慮しましょう。

ドウタンツツジは生垣として人気の樹種ですが、乾燥に弱い欠点があり、擁壁の上など特に乾燥しやすい場所では、夏の日照りで葉が枯れやすいので注意しましょう。

また、生垣は隣家との境界など日陰の場所に植えられるのが多いようですが、この場合は日陰に耐える常緑広葉樹やイチイなどを植えます。

●混ぜ垣も楽しい。

一種類だけでなく、数種類の樹木を混ぜて植えるのも変化があって楽しいものです。ただし樹木によって樹勢が違うので、狭い場所に一直線の生垣を作る必要がある場合は難しいです。

★生垣の手入れ

生垣の手入れは刈り込みにつきます。一年に二回刈り込めばきれいな生垣が維持できます。

一回目は強く樹形を整えるように、二回目は徒長枝を刈り込む程度にします。

落葉樹は秋に強く刈り込めばよいようです。

常緑樹は春先に強く刈り込むと勢いのよい枝葉が出ます。

二回目の刈り込みは注意を要します。あまり早く刈ると再び芽が出て新芽が充実する前に寒さに当たり、傷むことがあります。

樹木の生理として、上の方が樹勢が強いので、上を強く刈る必要があります。

最後に、直っすぐに刈るには水糸を張って機械的に刈るのではなく、樹木の弱いところは手加減をして、混んだところは強く刈ることが大切です。

作業にかかる前に離れて生垣をよく見て、刈るラインをしっかり頭に入れて下さい。

何度か刈ればきっとうまく刈れるようになります。

生垣に適した樹木

区　分	樹　種	1.8m当たりの本数	垣根の高さ	刈込み時期	根付け時期	特　徴　・　見　ど　こ　ろ
常緑樹	ベニカナメ	5～6本	1.2~1.8m	春と夏	4～6月	赤い新芽が美しい、耐寒性あり
	シラカシ	2～3本	2.0~5.0m	7、8月	5～6月	高生垣に適する
	マサキ	6～8本	1.2~1.6m	春と夏	4～7月	乾燥・湿地に強い、日陰に耐える
	イヌツゲ	5～6本	1.2~1.6m	〃	4～6月	〃
針葉樹	イチイ	3～6本	1.5~4.0m	5、8月	4～5月	葉が細かく上品である、耐陰性あり
	ニッコウヒバ	4～6本	1.5~2.5m	5、8月	4～6月	新芽が美しいが、懐枝が枯れやすい
	コニファー類	4～5本	1.2~2.0m	適　宜	4～6月	洋風の家、庭にあう
落葉樹	ドウダン	6～8本	0.6~1.2m	秋と夏	落葉期	紅葉が美しい、乾燥の害がある
	ウコギ	6～10本	0.6~1.6m	〃	〃	山形の伝統の生垣、ウコギ飯がうまい
	ヤマモミジ	4～6本	1.2~2.0m	〃	〃	紅葉が美しい
	ニシキギ	6～10本	0.6~1.2m	〃	〃	紅葉が美しい、横に枝を張りやすい
	ムクゲ	4～6本	1.2~2.5m	〃	〃	夏長く花が楽しめる花の色が多い

平成十年度特用林産の取り組み

◆平成九年次の生産動向

総生産額は七十億八千万円で四年ぶりに七十億円代に達するなど生産が活発化しています。

特にきのこ類は五六億二千万円と前年比四％の増となっています。

このように、米をはじめ農産物の価格低迷が続くなかで、自然食品・健康食品ブームの追い風を受けて、きのこ、山菜が注目を集めております。

◆県きのこ振興会の取り組み

「きのこパワーで健康生活」をキャッチフレーズにして、県民にもう一㌔の消費拡大をお願いする運動を展開します。

この運動は、量販店「ヤマザワ」の協力で秋季に計画しております。

また、本年度からは、県、両経済連、農協中央会に加え、山形県森林組合連合会が正会員に、県内の二つの種菌メーカーが賛助会員に加わり、組織強化が大きく進んでおります。

そのほか、山形県林業まつりには、県内のきのこ関係団体を結集し、県民の方々に県産きのこのＰＲを行う**「山形きのこ村」**を出現させることにしています。

原木しいたけの収穫

第十二回山形県きのこ品評会は、十一月下旬に最上地域の鮭川村で開催する予定で、鮭川村及び地元ＪＡからは全面的な協力をいただきます。

◆県木炭文化協議会の活動

本年度、県内三カ所で木炭関係施設が導入される等生産に取り組む地域が増えております。

このような中で平成七年に結成された県木炭文化協議会は、消費拡大や品質の向上等を目的に、品評会及び消費拡大ＰＲのほか、県内の生産者を組織化することにしております。

今後、木炭需要の拡大のほか収益性の高い商品開発に向けた取り組みが求められています。

◆県の取り組み

産地対策として、県内二十カ所の施設整備を実施するほか、新規参入者の研修会、加工食品分野などでの女性リーダーの育成、なめこ「月山Ｎ－１号」のモニター栽培等を行います。

消費・流通対策として、地域におけるきのこ銘柄化の推進のほか、きのこ料理教室・コンクールの開催、関連団体への負担金による支援等を行います。

交流対策として、林業公社林分を活用し、県民の「きのこ・山菜」栽培体験などを目的とした**「ゆとりの山づくり事業」**などを行います。

また、きのこ栽培経営相談の窓口をこれまでの県出先の林業振興課と併せ県農業改良普及センターにも設置しました。

このように、きのこ、山菜、木炭等の特用林産物に関して、業界を挙げた大きな動きが出て来ており、山形県のイメージにマッチした地域産業としてその重要性はますます高まることが予想されます。（県林政課）

ちょっと森林浴⑥（大江町）
「向山森林公園」

三十度を越えるうだるような夏の一日、森の天然のクーラーを求めて、大江町柳川にある「向山森林公園」にでかけてみました。

この公園は平成五年度に大江町が整備した場所で、柳川の豊かな森に包まれた森林公園です。

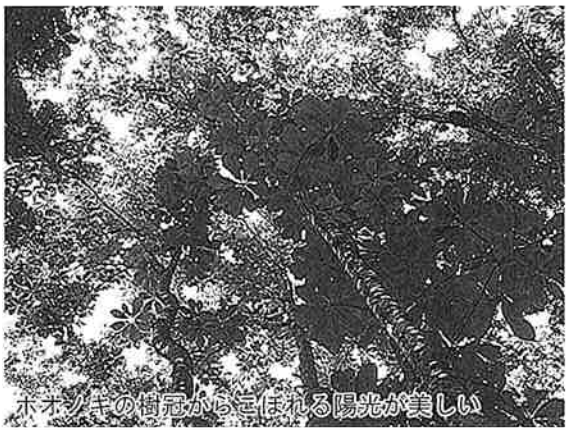
道路（作業道）に入るとすぐに大きなホオノキやミズナラの森が迎えてくれます。下層にはたくさんのオオバクロモジがみられます。ここにいるだけで森が発散するフィトンチッドで元気になったような気分です。

少し登った所で左側の遊歩道に入ってみましょう。聞こえてくるのは野鳥とセミの声だけ。気温を計ったら二五度。駐車場の炎天下では二九度でしたので四度の差です。涼しい！まさに森のクーラーです。

さて、再び作業道に出るとスギ林が現われます。まっすぐに伸びたスギは広葉樹林とは違った壮大感があります。道路の脇にはたくさんのスギの稚樹が顔を出していました。

しばらく歩くと右側に入る遊歩道があるので歩いてみましょう。このあたりからは、所々にブナが見えてきます。そのほか、大きなホオノキやヤマモミジ、ケヤキなどがここの住人です。おもしろい形の樹木をみつけました。二㍍ほどの高さから枝が五、六本タコの足のように分かれています。ハクウンボクです。こういったおもしろい形を自然の中に見つけてあれこれ想像するのも実におもしろいもの。そう考えながら上を見上げたら、青空のカンバスにホオノキの葉っぱが見事に描かれていました。

登りきった所にあずまやがあるので一休みしましょう。

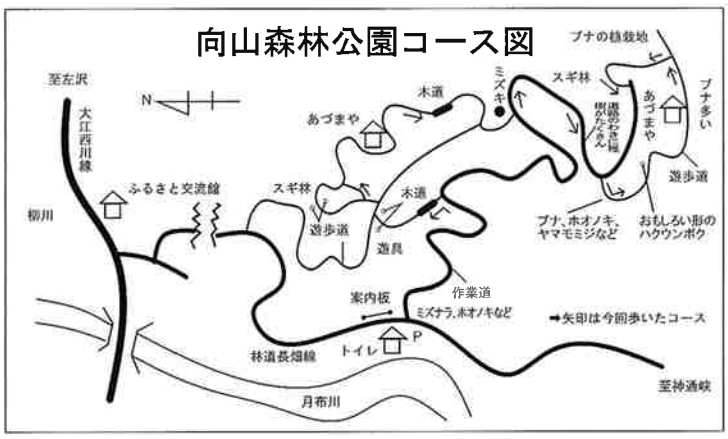

ホオノキの樹冠からこぼれる陽光が美しい

天然のクーラーが心地よい暑さを忘れさせてくれる

向山森林公園へは

左沢から主要地方道大江西川線を柳川方面へ車で約十五分柳川から林道長畑線に入り車で約五分。

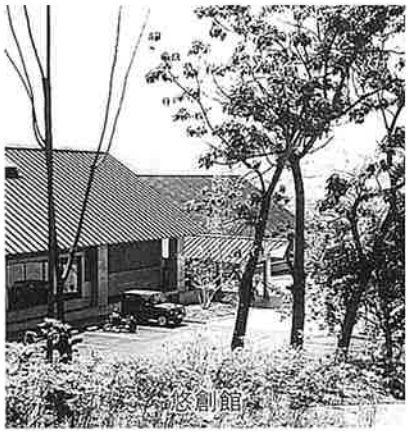
向山森林公園コース図



都市公園「悠創の丘」オープン
山形市に芸術・文化の森 出現

【全体計画】

悠創の丘は、「自然と人が共感し創造する丘」をコンセプトに、豊かな自然環境と山形盆地の雄大な眺望を楽しみ、東北芸術工科大学のもつ特性や機能を有効に活用しながら、県民が自由な学習と芸術・文化的な活動が展開できる「芸術・文化の森」を創る目的で整備されました。


悠創館

【施設の概要】

一、悠創館

自然の中の落ち着いた雰囲気で、山形市街地の眺望を楽しみながら芸術作品を鑑賞できる展示室や、芸術・文化についての研修や創作活動を行うための研修室を備えた悠創館を建設しました。

入館料は無料ですが、各施設は午前九時から午後五時まで有料で利用できます。開園当初より好評を得て、六月末までの利用者は六千名をこえています。

山形盆地が一望できる感動の丘

たけのこ広場

二、四阿

園内でゆっくり休養し、山形盆地を眺望できる施設として三カ所に配置されています。

三、園路

豊かな自然環境の中で、山形盆地を一望に見渡せる景観を楽しみながら散策する遊歩道や、樹木・遊歩道の管理や維持補修を行う管理道を整備しました。

遊歩道は木レンガやチップ舗装にしています。

木レンガの園路

四、歩道橋

中央ゾーンと南側ゾーンを結ぶ馬立川を横断する箇所に歩道橋（吊り橋と桁橋二橋）を設置しました。

以上、主な施設を紹介しましたが、今後、総面積約三十一㌶の悠創の丘が隣接する西蔵王公園の整備と合わせて、自由な学習と芸術・文化活動ができる「芸術・文化の森」として多くの方から利用されるよう期待しております。

（山形建設事務所都市計画課）

現地ルポ

米沢市「市民の森」へ林道整備

―林道「西向沼線」に名称を変更―

はじめに

林道栃窪笹野山線と林道三郎沢山線の二路線が、市民の森「西向沼」で接続し、一つの路線となり、名称も市民に親しまれている「西向沼線」と変更になりました。

路線は、米沢市街地の南方（位置図参照）にあり斜平山を越えて李山と小野川町を結ぶ、全幅員四㍍、延長七、六一四㍍の舗装道路です。

完成記念碑

開設の沿革

栃窪笹野山線は、李山を起点とし、昭和五十九年から林業構造改善事業で開設・舗装され平成五年に延長三、三一五㍍の林道として完成しました。

三郎沢山線は、小野川町を起点とし、同五十九年から普通林道として開設に着手、昭和六十三年に延長三、九九〇㍍が完成しました。

一方、米沢市制一〇〇周年を記念した緑地休養施設市民の森「西向沼」整備事業が新林業構造改善事業により昭和六十三年に完成し、この二路線を結ぶ取付道路三〇九㍍も出来ました。

米沢市は、市民の森の利便性に配慮し、利用者の増加を図るため、市単独ふるさと林道緊急整備事業で三郎沢山線の舗装を実施し、平成九年度に全線の舗装が完了しました。

結婚カップルによる記念植樹

市民の森は、西向沼を核とした面積十二㌶（当初は九㌶）の広葉樹の区域に便所、四阿、駐車場、林間歩道等の施設が整備されています。

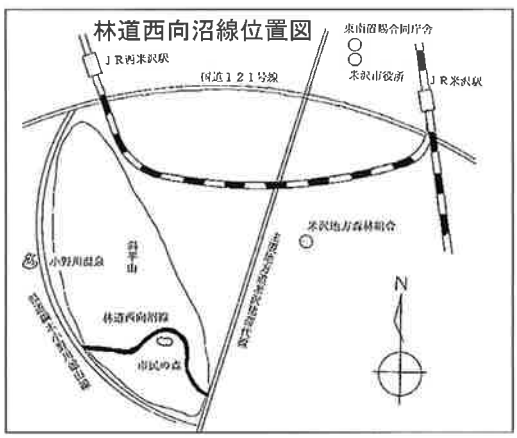
平成三年からは、その年に結婚したカップルによる結婚記念植樹が毎年実施され、平成八年まではコブシ等が、平成九年からはオオヤマザクラが植樹されています。

おわりに

斜平山は、春のタムシバ、秋の紅葉が美しく、山菜、きのこ等にも恵まれていることから、林道の利用者は増加の傾向にあり、平成九年度は推定一万五千人に上っています。

全線の舗装完成により、林業生産や保健活動へ、いっそうの利用の増加が期待されます。

（東南置賜地方事務所　林業振興課）



山のめぐみ

間伐材の需要拡大に向けて

月山山麓の羽黒山の近くに月山高原牧場があります。

庄内広域育成牧場として庄内一円から一八〇頭の牛が放牧され、標高四〇〇㍍の高原に広がる緑のジュータンと牛が気ままに草を食む風景は、ヨーロッパをイメージする素晴しい景観です。

その一角に、月山ハーモニーパークがあり、地元産のジンギスカンやバーベキューで人気のふれあいハウスやユニークな遊具のチビッコ広場、ポニーの動物ランドなどいろいろな施設があります。

昨年秋に、月山公園線と結ばれ利用されているのが、平成八年度に完成した間伐材利用モデル施設整備事業で建設された公衆トイレです。

内部はとても機能的な公衆トイレ

緑のトンガリ屋根に、杉丸太を使い、床も木レンガにするなど、間伐材をふんだんに使ったキャメル色のトイレは、高原のイメージとも重なり評判です。

自然体験の拠点として、ファミリーハイキングや幼児遠足など、いつまでも気持よく利用していただける施設としたいものです。

（羽黒町農林課）

山形の木の文化（庄内）

日和山の六角灯台

酒田市役所から北西約二㎞の地点にある日和山公園は、その素晴しい景観とともに港の繁栄を物語る多くの文化遺産が点在し、市民の憩いの場として心のより所となっている。

六角灯台はその平面形が正六角形であることに由来し、明治二十八年最上川河口左岸に「酒田灯台」として建設されたが、昭和三十三年に高砂地区に灯台が新設されたため廃灯となり、現在地に移築された。その後昭和六十三年に県の有形文化財に指定され現在に至っている。

構造は木造白色六角灯台、壁面は下見板張り、二層からなる塔身上にドーム屋根付の第三層（塔屋）が載る。高さ一・四二ｍのコンクリート基礎上に土台を据え、隅柱、管柱、間柱を建て、筋違、方丈を挿入した軸組工法をとっている。

使用樹種は高欄にケヤキを使用しているほかは、構造材・造作材ともスギを用いており、外観、架構とも明治中期の擬洋風建築で、意匠は簡潔にして堅実である。

六角灯台全景

（県林政課）

山の幸アラカルト

このコーナーでは、きのこや山菜を使った料理を紹介しています。

ラフランスステーキ きのこソースかけ

第２回山形県きのこ料理コンクール
山形県経済農業協同組合連合会会長賞
白鷹町　芳　賀　昭　子　さん

◆材料（１人分）

えのきたけ150ｇ、ほんしめじ60ｇ、マッシュルーム、豚肉100ｇ×4枚、ラフランス2個、生クリーム½カップ、牛乳½カップ、レモン汁、バター、オリーブオイル、ラムダーク大2、小麦粉、塩、胡椒
〔付け合せ●クレソン、人参、フライドポテト〕

◆つくり方

①豚肉に塩、胡椒して小麦粉をつけバターと油でソテーする。
②ラフランスをくし形に切り、バター大2でソテーにしてラムダーク大2をかけ味をつける。別皿に取っておく。
③えのきたけは半分の長さに切り、しめじは子房に分ける。マッシュルームを切り、オリーブオイルで炒め、それに生クリーム½カップ、牛乳½カップ、レモン汁を入れ、塩、胡椒で味を整え、きのこソースをつくる。
④ソテーした肉に②のラフランスを並べ、③のきのこソースをかける。付け合せに、クレソン、人参グラッセ、フライドポテトを並べる。

◆ポイント

山形特産ラ・フランスときのこ入りホワイトクリームの絶妙な味が楽しめる逸品。

信頼の森林づくり

地域に根ざした豊かな森林をつくります
いろいろな森林体験ができます

財団法人山形県林業公社
山形市鉄砲町二丁目19番68号
TEL023−623−3505

―県森林研究研修センターからのお知らせ―

原木マイタケのコンテナ栽培

◆はじめに

マイタケは、やや高い山の峰筋等に生育しているミズナラの大木の根回りに、九月中旬から十月上旬頃にかけて発生します。採取には急斜面を登る苦労があるものの、大きく大変美味しいため、マツタケと並んできのこ取りには人気のあるキノコです。

最近では、完熟原木が種菌メーカーから市販されており、一般家庭でも手軽に栽培できます。

原木栽培では、天然マイタケに近い品質を味わうことができます。

◆コンテナ栽培

栽培の手順は次のとおりです。

一、コンテナを用意し、覆土が流れ出ないように新聞紙で内側を覆い、底土を深さ三㌢位入れます。

1、覆土前のコンテナ

二、原木の大きさにもよりますが、六本程度の原木を密着させて入れ、原木の上面から覆土を三～五㌢位の厚さに入れます（写真―1）。

三、覆土材は、主に畑土を使用しますが、鹿沼土、赤玉土、モミガラ等も利用できます。

四、材料の入れ終わったコンテナに十分灌水し、直射日光の当たらない風通しの良いところに置きます（写真―2）。

2、覆土後のコンテナ

五、覆土の表面が乾いてきたら、灌水します。

六、八月下旬頃になると、黒灰色の魂（生長してマイタケになる）が表面にでてきますが、触らないように注意します。これ以降は灌水しません。

七、その頃になるとナメクジの食害が出るので、薬剤防除や夜間捕殺する必要があります。

八、収穫は傘が七～八分に生長した時が適期です。栽培の初年度の発生は少しですが、次の年から本格的に発生し、三～四年間マイタケの発生を楽しむことができます。（写真―3）。

3、コンテナから発生したマイタケ

◆終わりに

マイタケはどんな料理にも合うきのこです。採り立てのマイタケを色々料理してお楽しみください。

山形県林業技術教育促進事業

高性能林業機械体験学習会

～参加者を募集します～

労働を軽減し、安全で能率がよく、高い生産性を目指して機械化が進められております。

いま林業の現場では画期的な高性能林業機械を使用した作業が行われるようになりました。

林業への就業を促進するため林業について学んでいる大学生や高校生及び林業に関心のある方等を対象に、これらの機械を使用した作業を紹介し、体験していただく学習会を行います。

◆日時　九月七日(月)～八日(火)

◆場所　山形市上宝沢地内
公社造林間伐現地

◆使用機種
・ハーベスタ（伐倒、枝払い、玉切り機）
・フエラーバンチャ（伐倒機）
・フォワーダ（積込、運材機）

この外、間伐材の搬出に適した小形木寄せ集材機、自動枝打機等約十台予定しております。

◆参加申込み

参加希望者は、**山形県林業機械化協会**（☎０２３―６３３―１５３６）にお申込み下さい。

（山形県林業機械化協会）

フォワーダの積込み研修

山形県林業機械化協会

林業機械化の先端情報をすばやく提供

会長　奥　山　幸　作(昭和機械)

会員社名	所在地	TEL・FAX
昭和機械㈱	村山市大字擂山4600-140	0237-55-5055　55-5059
㈱村上キカイ	酒田市両羽町1-4	0234-23-1711　26-2462
㈱村山商工	米沢市松が岬３丁目2-25	0238-23-3682　23-8683
㈱山工社	山形市宮町３丁目2-8	023-622-0933　622-0963
安彦製材機㈱	山形市桜田東２丁目3-37	023-641-6308　624-1423
㈲中屋	山形市宮町１丁目11-1	023-622-4872　622-4878
㈲林和機工	山形市馬見崎３丁目20-9	023-684-9888　684-8777
山形県森林組合連合会	山形市蔵王成沢字町浦535	023-688-8100　688-8103
イワフジ工業㈱山形営業所	山形市大字明神前20-13	023-643-9558　643-9554
コマツ山形㈱	山形市蔵王成沢字町浦192	023-642-1106　642-1900
東北建設機械販売㈱　山形支店	天童市高擂字金石段南1225-1	023-655-2111　655-4334
㈲東栄重車輛	天童市大字清池字金石段656	023-655-4168　655-4197
東北共立エコー㈱　山形営業所	東根市大字郡山字ノギハ164-6	0237-42-7130　42-7132
日立建機㈱　山形支店	東根市大字若木字七窪5581-2	0237-48-1611　48-2314
エレクトラックスジャパン㈱ハスクバーナ事業部盛岡営業所	盛岡市津志田9-18-1	019-637-3200　637-3003
ヤンマー東北建機㈱	仙台市宮城野区福田町南1丁目1-10	022-259-7201　259-7205
ニチメン原動機販売㈱東日本営業所	盛岡市東緑ヶ丘21-34	019-663-5025　663-5065
㈱築水キャニコム仙台センター	仙台市太白区茂庭字人来田西8-16	022-281-1255　281-3141

山形県林業機械化協会事務局　山形市桜町２－35(林業会館内)　TEL 023-633-1536 FAX 624-0804

豊かな緑を次世代に

―全国林業後継者大会に参加して―

山形県林業士会　西川町　林業士　佐藤　郁男

五月九日から十日にかけて、群馬県で開催された第四十九回全国植樹祭に朝日町愛林会の阿部健一郎さんとともに参加させていただきました。

後継者大会は、植樹祭の前日に渋川市民会館で行なわれました。参加者について感じたことは、高校生の参加が多かったことです。私のように後継者育成に困っている者には考えさせられることでした。

開会行事に続き、「流域共生社会の実現を目指して」と題し哲学者内山節氏の基調講演がありました。都内で暮らす人々と農村で暮らす人々の協力関係のあり方を考える内容でした。続いて高崎経済大学西野寿章助教授をコーディネーターとして、パネルディスカッションが行われました。林業経営者、木材産業従事者、森林インストラクターの方などそれぞれの立場からの発言がありました。

大会は、「森林へようこそ流域共生社会の構築をめざして」という大会宣言で幕を閉じました。

夜には宿泊所を会場にし、歓迎会がありました。全国から参加された方々の問題点は同じであり、アルコールの手伝いもあり、大いに気炎を上げて来ました。

群馬県は昨年十一月、西村山林業振興協議会の林業視察でも訪れた所です。山や有名な温泉地が多くこの点では山形県と共通する所の多い県です。多くは畑作地帯で、稲作地帯の多い山形県とは違った問題もあるようでした。

植樹祭の会場は、県内外からの一万七千人の参加者であふれていました。主催県の方針かも知れませんが、高校生や小中学校生が多く参加していました。

全国から林業後継者が集った―

緑豊かな国土を次の世代に引渡すことは私達の責務です。その意味で若者の参加は大きな意義があると思います。

最後に林業の抱える問題について記したいと思います。私は十年間ほど地区生産森林組合の経営にかかわって来ました。経営面積は約三百五十㌶ほどですが、必要経費を考え、なるべく皆伐をしないように心がけたつもりです。

しかし今日の状況は経営努力だけでは成り立たないようです。

世界各地から木材は輸入され国産材の消費は二〇％にすぎないというのでは木材価格の上昇は望めません。今皆伐した場合再造林はしない方針です。自然環境を守る立場からみると日本の山林は再生力が強く自然植生にまかせた方が良いようです。

の情報発信コーナーです

緑のやまがたコーナー
県内の各林業グループから

森と緑あふれる風景

―全国植樹祭に参加して―

山形県緑を育てる女性の会　八幡町　丸藤　百合子

風薫る五月十日第四十九回全国植樹祭が群馬県沼田市と川場村にまたがる県立森林公園「二十一世紀の森」で開催されました。

沼田市は、上越国境の美しい山々と長い年月が育んだ豊かな森林の緑が息吹く雄大な自然につつまれた町です。

「聞こえますか森の声」をテーマに群馬カラーをアピールした会場は、約一万七千人の県内外の参加者でいっぱいとなりました。好天に恵まれ、感動の歓声とどよめきが、群馬の山々の峰から峰へと森の声となり遠く波うっていくかのようでありました。

式典に臨む前に、各県より集った参加者は、三十六種類に及ぶ苗木を一本々々丁寧に植樹をし、私たちもナナカマドを植えてきましたが普段と違いスコップを握る手に、ひときわ力が入りました。

「質素、素朴、元気、手作り」をキャッチフレーズにしたこの大会は、二千人を越える緑の少年団員や高校生等、次代を担う若人も大勢参加し、緑の未来を次代を担う青少年に託そうとする県民の意識が大変心強く感じられました。

プロローグでの県産材を利用したアルプホルンの演奏は高原のすがすがしさを十分満喫させてくれました。また「木どころ」沼田は、恵まれた森林資源を背景に木材、木製品等の地場産業が盛んで、会場ベンチや、道路の側溝のふた、そしてガードレールまでが群馬産の木材で作られ、いたる所に手作りによる素朴さを強調していました。

スコップを握る手にひときわ力が入りました。

両陛下も、杉、ヒノキ等の苗木を記念植樹され、また、群馬県に留学中の外国の農業高校生も、国境を越えた緑の広がりをアピールしていました。

群馬県は、首都圏の重要な水源地となっている事から、森と水の関わりをまとめた映像等が会場内の大画面に美しい音声とともに映し出されました。

毎年世界で多くの森林が失われ温暖化や砂漠化等、地球環境の悪化が問題となっております。この大会を通して森林の大切さを一人一人が再認識し、国土の保全及び緑化の推進を二十一世紀を担う若人達に限りない期待をよせるとともに、ふるさとの緑への思いを新たにさせられました。

やすらぎの緑の空間を創造し　山形の未来を考える

社団法人　山形県緑化センター

理事長　原田　克弘

山形市大字長谷堂字馬場2265番
TEL（023)688-6633　　FAX（023)688-6634

環境を守ろう　　森林を育てよう

災害に強い県土を
良質な水の安定供給を
緑豊かな環境つくりを

山村の生活環境の整備を
森林の恵みの循環利用を

山形県森林土木建設業協会

会長　荒井　康之助

山形市桜町２－35（林業会館内）
電話（023)632－3893　FAX（023)632－5454

木材市況

（６月10日現在）

	樹材種	材長	品等	1㎥当り価格	前月比較
素材	スギ小丸太	3.65～4.00m	込	15,100円	－600円
	スギ中丸太	〃	〃	19,700円	－200円
	マツ中丸太	〃	〃	16,400円	＋200円
	米ツガ（セミカスケード）	6.0m上	普通材	22,600円	＋100円
	エゾマツ小丸太	定尺	〃	16,200円	－100円
	エゾマツ中丸太	定尺	〃	16,600円	－900円

	樹材種	厚	幅	長	品等	1㎥当り価格	前月比較
製品	スギ母屋	10.5cm	10.5cm	3.65～4.00m	特等	57,800円	＋700円
	エゾマツ野縁	3.6cm	3.6cm	3.80～4.00m	〃	56,000円	－700円

森林やまがた８月号　平成10年８月１日発行　通巻第17号
編　集　山形県林業改良普及協会　山形県
発　行　山形県林業改良普及協会
〒990-0045 山形市桜町２－３５　林業会館内
☎(023)622－8823　FAX(023)633－8506

印刷所　大場源太郎印刷所　定価　一部二三〇円